

みずほCustomer Desk Report 2017/06/29 号(As of 2017/06/28)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	112.08 AUD/USD
TKY 9:00AM	112.20	1.1337	127.18	0.9605	1.2814	0.7586
SYD-NY High	112.42	1.1391	127.86	0.9648	1.2971	0.7645
SYD-NY Low	111.83	1.1290	126.50	0.9580	1.2794	0.7578
NY 5:00 PM	112.34	1.1377	127.78	0.9597	1.2928	0.7639
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	7.475/7.855	△ 25RR	0.838	Yen Call Over		
NY DOW	21,454.61	143.95	債券市場	日本2年債	-0.1140	▲ 0.7bp
NASDAQ	6,234.42	87.79		日本10年債	0.0640	1.7bp
S&P	2,440.69	21.31		米国2年債	1.3533	▲ 1.6bp
日経平均	20,130.41	▲ 94.68		米国5年債	1.8206	0.9bp
TOPIX	1,614.37	▲ 4.65		米国10年債	2.2279	2.3bp
シカゴ日経先物	20,245.00	65.00		独10年債	0.3680	▲ 0.2bp
ロンドンFT	7,387.80	▲ 46.56	為替市況	英10年債	1.1540	6.4bp
DAX	12,647.27	▲ 23.75		豪10年債	2.4570	10.3bp
ハンセン指数	25,683.50	▲ 156.49		USD/CNH	6.8036	▲ 0.0107
上海総合	3,173.20	▲ 18.00	商品市況	ドルインデックス	96.04	▲ 0.35
USDJPY 3M Vol	8.10	0.04%		CRB指数	170.975	0.96
USDJPY 6M Vol	8.58	0.02%		NY金	1,249.10	2.20
EURJPY 3M Vol	8.71	0.36%		WTI	44.74	0.50
EURJPY 6M Vol	9.23	0.28%		Dubai Spot	45.38	0.32

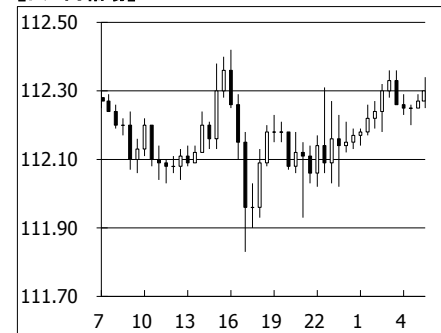
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月28日	16:30	米 ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁 講演	-	-
	20:00	米 MBA住宅ローン申請指数	-6.2%	-
	21:30	米 卸売在庫(前月比)・速報値	5月 0.3%	0.2%

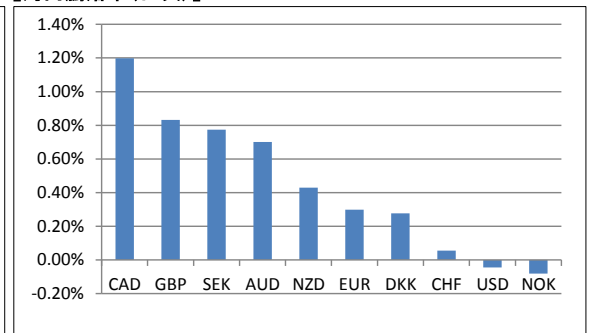
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月29日	08:50	日 対内・対外証券投資	-	-
	15:30	日 原田日銀審議委員 講演	-	-
	18:00	欧 消費者信頼感	6月 -1.3	-1.3
	21:00	独 消費者物価指数・速報値(前年比)	6月 1.4%	1.5%
	21:30	米 新規失業保険申請件数	- 240K	241K
6月30日	02:00	米 ブラード・セントルイス連銀総裁 講演	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【マーケット・インプレッション】

【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-112.80	1.1320-1.1420	127.30-128.70

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は底堅い展開。ドル円は欧州時間入り直後に堅調なクロス円や米金利の上昇に連れ、112.42まで上昇。その後、米金利がやや反落する中で一時111.83まで小緩む場面も見られたが、カーニーBOE総裁が景気刺激の解除が必要になる可能性を示唆し、債券円が急伸する中でドル円も堅調推移し、結局112.34付近でクロースした。本日のドル円は底堅い展開を予想する。ここ数日、欧米英各々の中央銀行メンバーからはタカ派よりの発言が目立ち、相対的に円が売られやすい地合となっている。四半期末が近づく中で実需の需給に振られる場面もあろうが、ドル円は小確りとした展開となりそうだ。

東京	東京時間のドル円は112.20レベルでオープン。四半期末のスポット末日となったこの日、本邦勢による実需フローが散見される中で一時112.10付近まで下押しされた後、仲値をはさんで112.20付近まで値を戻すも再び112.04まで軟化する荒い展開。午後にかけて実需フローが一服すると、日経平均が横這い推移となる中でドル円も横這い推移。引けにかけては、米金利が小幅上昇する中でユーロ円の上昇も相俟ってドル円は112.38まで上値を伸ばす展開となり、結局112.30レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は112.30レベルでオープン。オープン後に前日高値(112.46)に迫る112.42まで上昇を示したが、上抜けには至らず、上値トライ失敗後には、特段の材料はなかったものの、ドル売り円買いの動きが加速する中でドル円は112円ちょうどを下回ると、ストップを巻き込みながら一時111.83まで下落。その後は、112円台前半まで値を戻し、結局112.12レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.1369レベルでオープン。ドラギECB総裁の効派発言を背景としたユーロ買い優勢地合いが前日から続く中、この日もユーロドルは堅調推移し、1.1388まで上昇した後に1.1375レベルでNYに渡った。(ロンドンタイムズ 00531 444 179 山本)
ニューヨーク	海外時間のドル円は112円台前半中心にて推移し、112.12レベルでNYオープン。朝方ECB関係者の話として「27日のドラギ総裁発言を市場は誤って判断している。総裁の発言は金融引き締め時期が迫っていることを意味しておらず、低インフレの長期化を容認する姿勢を示したものだ」との報道が伝わり、前日のドラギ総裁による効派発言後の織り込みを巻き戻す動きが強まりユーロ円が急落するとドル円も112円台割れまで下落したが、すぐに112円台を回復。その後、カーニーBOE総裁の「景気刺激の解除が必要になる可能性も」との金融緩和縮小を示唆する効派発言を受けて「ボンド」買いが強まり、ボンド円が5月中旬以来の水準まで急騰したことからドル円も112.20付近まで上昇。その後は原油在庫統計をきっかけに原油価格が上昇し、米株も堅調推移したことからドル円は112.36まで上昇。しかし、ロンドン時間の高値112.42が意識される中で112.30付近での推移が続き、結局112.34レベルでクロースした。一方ユーロドルは前日からの堅調推移が続き1.1375レベルでNYオープン。朝方の上記ECB関係筋発言のヘッドラインを受けてユーロドルは一時1.1290まで急落。しかし、積極的に下値を追う展開とはならず、その後はカーニー氏の効派発言を受けたボンド相場の急騰に連られる格好から年初来高値となる1.1391まで急反発。午後後も1.13台後半での底堅い推移が続き、結局1.1377レベルでクロースした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:高野・鶴田